

5月13日(月)、本誌 第5回 優秀論文賞の表彰式をオンライン形式にて行いました。表彰式では、このたび優秀論文賞を受賞されました久保 武先生と外園英光先生へ、『臨床画像』アワード選考委員会より記念盾を贈呈させていただきました。

『臨床画像』優秀論文賞

「びまん性肺炎鑑別の考え方 ―総論、びまん性すりガラス状陰影―

久保 武 先生 (天理よろづ相談所病院 放射線部)

[2023年5月号 (Vol.39, No.5) 特集1「絶対苦手分野にしない 間質性肺炎・びまん性肺炎の画像診断」に掲載]

第5回臨床画像優秀論文賞をいただき、大変光栄に思います。今回、特集「絶対苦手分野にしない間質性肺炎・びまん性肺炎の画像診断」の企画を任せていただき、書く内容を自分で決める機会を得ましたので、ふだん私が若い放射線科医師に教えている、是非知っておいてほしい、診断に困ったときに役立つ考え方を書いてみたのがこの原稿です。実際に手をつけてみると意外にまとめるのに難渋しましたが、高いご評価を頂き大変うれしく思っています。この特集が、タイトル通り、呼吸器画像診断が得意な先生が増える一助となれば幸いです。



『臨床画像』優秀論文賞

「早期膵癌の画像診断」

外園英光 先生 (川崎医科大学 放射線診断学教室)

[2023年7月号 (Vol.39, No.7) 特集1「令和にアップデートしたい 膵癌の画像診断」に掲載]

このたびは『臨床画像』第5回優秀論文賞にご選出いただき、誠にありがとうございます。膵癌の予後の改善は急務であり、そのためには早期膵癌の診断が鍵となります。本稿ではCTおよびMRIによる早期膵癌の画像所見を中心に概説させていただきました。腫瘍のみならず随伴所見を熟知し、効率よく検出能の高い内視鏡検査や組織学的検査へと導くことが重要と考えています。ご選考いただいた編集委員の先生方、執筆の機会を与えてくださった川崎医科大学の福倉良彦先生、作図や校正など大変お世話になりました編集部の皆様に、心より御礼申し上げます。



2024年度も、1年間に本誌に掲載された優秀な論文および特集を表彰するアワードを予定いたしております。今後ともよろしくお願い申し上げます。